

## 滋賀県の河川、ため池等における外来魚の生息状況について

滋賀県農政水産部水産課 山本充孝

### はじめに

平成14年6月信楽町大戸川で、外来魚であるコクチバスの生息が確認された。コクチバスは魚食性が強く、食害による河川在来魚の資源減少が憂慮される。また、コクチバスの他、オオクチバスやブルーギル等の外来魚の違法な放流が続き、県内における外来魚の生息水域の拡大と繁殖が懸念されている。このため、県内の河川、ため池等における外来魚の生息実態調査を平成14年度から平成16年度にかけて「緊急地域雇用創出特別基金事業」の活用事業として河川、ため池等における外来魚の生息実態調査を実施した。

### 調査内容

1. 調査対象魚種  
コクチバス・オオクチバス(ブラックバス)、ブルーギル
2. 現地調査期間  
平成14年12月16日から平成16年12月3日
3. 調査方法  
調査地点は、県内の河川、ため池、ダム湖等から758地点について実施した。  
調査方法は目視観察調査、釣獲調査、現況調査、ヒアリング調査を行った。  
なお、調査の実施は、「緊急地域雇用創出特別基金事業」により、民間コンサルタントに委託した。

### 調査結果概要

全調査対象地点の内訳は、「河川(438地点、57.8%)」、「ため池(290地点、38.2%)」、「ダム湖(30地点、4.0%)」のとおりである(図1)。

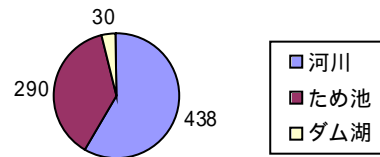


図1 調査区分(758地点)

調査した758地点のうち233地点において外来魚(オオクチバス・ブルーギル)が確認されたが、コクチバスは何れの地点においても確認されなかった。また、外来魚の生息が確認された地点を区分別にみると、「河川」が438地点のうち76地点(17.4%)、「ため池」が290地点のうち142地点(49.0%)、「ダム湖」が30地点のうち15地点(50.0%)で確認された(図2)。

市町の区分では30市町(2006年1月29日現在)のうち27市町で生息していることが確認された。

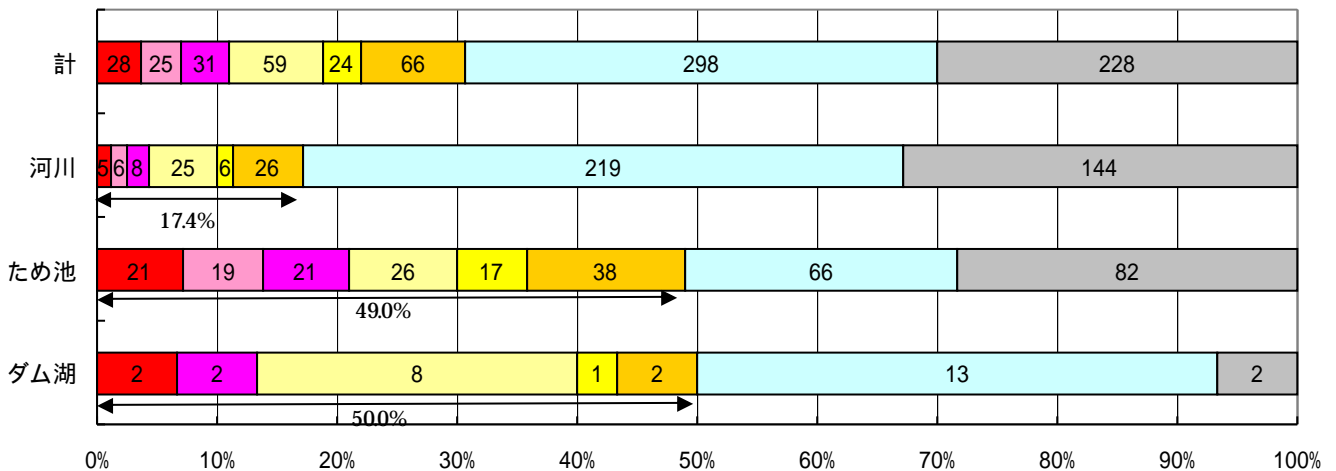


図2 区分別魚類生息状況(758地点)

■ オオクチバス 
 ■ ブルーギル 
 ■ オオクチバス+ブルーギル 
 ■ オオクチバス+その他 
 ■ ブルーギル+その他 
 ■ オオクチバス+ブルーギル+その他 
 ■ その他(在来魚・バス、ギル以外の外来魚) 
 ■ 未確認